

甲府市地球温暖化対策実行計画
(区域施策編)
令和2年度年次報告書

令和4年2月

甲 府 市

目次

第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画について

1	実行計画の目的	1
2	実行計画の位置づけ	1
3	実行計画の計画期間	1
4	実行計画の中間見直し	1
5	目標年次と削減目標	1
6	対象とする温室効果ガスの種類	2
7	対象とする部門	2
8	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	2
9	関係者の役割	3

第2章 2020（令和2）年度の施策の実施状況

1	重点プロジェクト（6つのアクションプラン）進捗状況	4
2	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）取り組み状況	12

第3章 施策の検証

1	実行計画の推進体制	36
2	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見	37

【資料】

(1)	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会委員名簿	39
(2)	平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	40
(3)	SDGs（エス・ディー・ジーズ） 持続可能な開発目標 17の目標	41

第 1 章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1 実行計画の目的

- 「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）は、平成20年6月に一部改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたものです。
- 市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、地域特性に応じた地球温暖化対策の取り組みを推進し、まちづくりの基本目標の一つである「自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる（環境）」〈第六次甲府市総合計画〉の実現を目指すとともに、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に貢献することを目的としています。

2 実行計画の位置づけ

- 実行計画は、平成18年度に策定された「新甲府市地球温暖化対策推進計画」を引き継ぐとともに、策定にあたっては本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第六次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した施策を展開していくうえで最も基本となる「第二次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、都市整備に関わる施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画や関係施策との連携を図っています。

3 実行計画の計画期間

- 実行計画の計画期間は、中期2030（R12）年度、長期2050（R32）年度であり、基準年については、2008（H20）年度としています。

4 実行計画の中間見直し

- 2021（R3）年2月、山梨県と県内すべての市町村とともに、2050（R32）年温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。
この表明に伴い、2021（R3）年3月の甲府市地球温暖化対策実行計画中間見直しにおいて、これまで国の目標に沿った「長期目標：2050（R32）年度の温室効果ガス排出量は、2008（H20）年度比で80%削減とします。」を見直し、2050（R32）年温室効果ガス（二酸化炭素）実質排出ゼロを実現することを表明する「ゼロカーボンシティ」を目指すとなりました。

5 目標年次と削減目標

- 実行計画の温室効果ガスの排出削減目標等は、基準年の2008（H20）年度比で中期目標は、2030（R12）年度までに、25%削減、最終エネルギー消費量は、

23%削減とします。

長期目標は、2050（R32）年の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指します。

6 対象とする温室効果ガスの種類

■対象となっている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF₆）です。

7 対象とする部門

■エネルギー起源の温室効果ガスについては、国のエネルギー消費の統計上の分類に合わせて、「産業部門」、「民生家庭部門」、「民生業務部門（民間）」、「民生業務部門（公共）」、「運輸部門」としています。

■非エネルギー起源の温室効果ガスについては、「工業プロセス分野」、「廃棄物分野」、「農業分野」、「代替フロン等3ガス部門」としています。

8 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

・6つのアクションプラン

「2050年の甲府市の姿」と長期目標を念頭におきつつ、2030（R12）年度の中期目標の実現に向けた本市の重点的な取り組み（重点プロジェクト）として、温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制する「6つのアクションプラン」に取り組めます。

・適応策（P33参照）

6つのアクションプランに取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合への対策に取り組めます。

◆甲府市地球温暖化対策実行計画の見直しについて

甲府市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを表明し、脱炭素社会の実現のための取り組みを進めています。

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第6次報告書では、人間が地球温暖化を引き起こしたことを、はじめて断定しました。

2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするためには、高度な科学技術の開発はもとより、私たちのライフスタイルの変容が求められています。

このような状況を受け、甲府市では令和4年度に「甲府市地球温暖化対策実行計画」の改定を行い、目標達成に向けて市民、事業者、NPO等及び行政の取り組むべき課題を抽出するとともに、国が定めた「地域脱炭素ロードマップ」で地域が取り組むべき重点対策の施策について、実現性や効果等を検証し、本市の取組を実行計画に定めてまいります。

9 関係者の役割

市民

- 市民一人ひとりが、日々の暮らしにおいてエネルギーを大量に消費していることを自覚し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や身近なところから実践する省エネルギー行動、地球環境と調和したライフスタイルへの転換など、温室効果ガス排出量削減のための行動に積極的に取り組む役割を担います。

事業者

- 地域社会の構成員として、自らの企業活動と環境・エネルギー問題との関わりを十分に理解し、これらに留意した企業理念や行動指針を確立するなど、企業市民として地域社会や地域環境の保全に積極的に取り組む役割を担います。

学識経験者

- 地球温暖化やエネルギー関連の分野の知識を活かし、効果的かつ確実な地球温暖化対策を甲府市全域で取り組めるように助言を行う役割を担います。

N P O

- 各団体の知識や経験、専門性を活かし、日々の暮らしにおいて、地球温暖化対策や省エネルギーの情報提供、再生可能エネルギー施設の設置(市民共同発電等)、普及啓発・環境教育の実施など、市民及び事業者の自発的な取り組みを支援する役割を担います。また、地球温暖化対策に取り組むリーダー的存在となり、市民・事業者・行政との連携の橋渡しの役割を担います。

甲府市

- 積極的に省エネルギー行動に取り組むとともに、情報提供・相談窓口など、地球温暖化及びエネルギーに関する広報活動、情報提供を行う役割を担います。さらに、生涯学習や子供たちの環境学習などの場の創出に努め、市民の知識を深める機会を提供する役割を担います。
- また、率先して公共施設への再生可能エネルギー導入を行うとともに、市民・事業者による再生可能エネルギー導入に対する支援を行う役割を担います。

第2章 2020（令和2）年度の施策の実施状況

1. 重点プロジェクト（6つのアクションプラン）の進捗状況

- 目標値が定量化されている取り組みの実績については数値、進捗率については％で表し、また、目標値が定量化されていない取り組みの実績については「実施」「未実施」とし、進捗率については「実施：◎」「未実施：×」「一部実施：△」で表しました。

アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進			
《人づくり・地域づくり・協働の推進》			
<p>（1）環境教育の推進について、「①幼児・学校教育における環境教育の推進」、「②地域・家庭における環境教育の推進」では、放課後児童クラブ等での環境学習講演会や各自治会及び各種団体等を対象とした出前講座などを実施しました。また、「③甲府市リサイクルプラザの活用」では、エコ教室を開催し環境教育の推進を図りました。</p> <p>次に（2）多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）について、「①地域の温暖化防止活動等の推進」では、地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等を開催しました。また、こうふのecoを活用し市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化）に努めました。「②地域の人材育成」では、山梨県に地球温暖化防止活動員を推薦することにより、地域の人材育成を図りました。</p>			
取組	目標値	令和2年度	
		実績	進捗率・達成率
（1）環境教育の推進			
①幼児・学校教育における環境教育の推進	環境教育事業への参加児童数		
	単年度目標値	1,600人/年	978人 61.1%
②地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数		
	単年度目標値	100人/年	98人 98.0%
③甲府市リサイクルプラザの活用	甲府市リサイクルプラザを活用した環境教育の推進		
	【目標値なし】	実施	◎

取組	目標値	令和 2 年度	
		実績	進捗率・ 達成率
(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 (産学官民協働の推進)			
①地域の温暖化防止活動等の 推進	地域で活動する団体と協働・ 連携によるイベント等の開催		
	単年度目標値	5 回/年	2 回 40.0%
	こうふの eco の活用による市 域の温暖化対策の情報発信 (甲府市環境コミュニティの 活性化)		
	【目標値なし】	実施	◎
②地域の人材育成	地域コーディネーター数 (単年度目標値なし)		
	2030(R12)年度	延べ 100 人	延べ 49 人 49.0%

アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
<p>(1) 太陽エネルギーの活用について、「①太陽光発電システムの導入促進」では、「甲府市クリーンエネルギー機器普及促進助成金制度」により、家庭用太陽光発電システムや住宅用蓄電池の導入促進を図っています。また、「②市民共同発電の推進」や「③太陽熱エネルギーの活用」では、それぞれに設備が導入され実施しています。</p> <p>次に(2) バイオマスエネルギーの活用について、「①バイオマスエネルギーの活用と普及促進」では、「甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度」の活用により普及促進を図っています。果樹剪定枝の活用においては焼却工場移転に伴い、モデル地区によるぶどうの剪定枝のエネルギー活用事業は、平成 28 年度で完了しています。</p> <p>(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用、「①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用」では、山宮減圧槽に設置した小水力発電が稼働しています。</p>

取組	目標値	令和2年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 太陽エネルギーの活用			
① 太陽光発電システムの導入促進	住宅用太陽光発電システムの導入		
	単年度目標値	1,100t-CO ₂ /年	155.83t-CO ₂ 14.2%
② 市民共同発電の推進	市民、NPO等との連携による推進・市民共同発電設備導入	山城地区市民協働発電所	
	【目標値なし】	実施	◎
③ 太陽熱エネルギーの活用	太陽熱エネルギーの活用の推進・太陽熱エネルギー設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎
(2) バイオマスエネルギーの活用			
① バイオマスエネルギーの活用と普及促進	木質バイオエネルギーの活用推進、木質ボイラー・木質ペレットストーブ等の普及促進、バイオマス資源のエネルギー活用の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
	果樹剪定枝利用量 平成28年度事業終了		
単年度目標値	100t/年	—	—
(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用			
① 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進	地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進・設備の導入		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン3 潤いある森林の整備			
《森林整備》			
<p>(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）について、「①森林整備の推進」では、甲府市森林計画等の進行管理が適正に行われており、目標を達成しています。また、「②県産材等木材の利用促進」や「③森林の保護、育成に関する意識の醸成」では、森林を利用した環境教育の推進として、間伐体験やネイチャーゲームを実施しました。</p>			
取組	目標値	令和2年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）			
①森林整備の推進	森林（市有林、民有林）整備の推進		
	単年度目標値	21,500 t-CO ₂ /年	21,500t-CO ₂ 100.0%
②県産材等木材の利用促進	県産材等木材の建築物等への利用促進		
	【目標値なし】	実施	◎
③森林の保護、育成に関する意識の醸成	森林環境保全イベント等の開催		
	【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動	
《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》	
<p>(1) 省エネ行動の普及促進について、「①省エネ行動の普及促進」では、広報こうふ・こうふの eco など情報提供をしています。また、「②緑のカーテンづくりの推進」では、新型コロナウイルス感染防止のため「緑のカーテンづくり」セミナーは中止し、セミナー参加予定者にゴーヤの苗を配布しました。</p> <p>次に(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進について、「①エコドライブの推進」では、安全運転研修で「エコドライブについて」の説明を行い、その後の伝達研修により多数に周知しています。また、「②公共交通機関の利用促進」では、交通手段に公共交通の利用を促す「こうふエコ通勤デー」の実施や県主催のエコ通勤トライアルウィークへの参加、公共交通を考える機会の創出として、山梨県、山梨運輸支局、交通事業者との協働により「やまなし公共交通フェスティバル」を開催しています。さらに、公共交通の利便性向上のため、サイクル・アンド・ライドの推進では、新たに駐輪所を5施設新設し、公共交通利用者の利便性の向上を図りました。エコ通勤優良事業所は延べ3ヶ所、令和2</p>	

年度は2ヶ所の事業所が認証・登録されています。「③自転車による環境にやさしい移動の推進」では、(一社)甲府市観光協会が実施する「レンタサイクル甲府」事業を支援し、観光地を環境にやさしく気軽に周遊できる、電動自転車を貸出しているほか、こうふのecoにおいても情報提供を行っており普及啓発に努めています。

取組	目標値	令和2年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 省エネ行動の普及促進			
①省エネ行動の普及促進	省エネ意識の高揚、醸成及び省エネ機器等の情報の提供、発信エネルギーの見える化による省エネ行動の実践 COOL CHOICEの普及促進 【目標値なし】	実施	◎
	②緑のカーテンづくりの推進	緑のカーテンづくりイベント等参加者数 単年度目標値	100人/年 65人
(2) 低炭素型の移動(スマートムーブ)の推進			
①エコドライブの推進	エコドライブの普及促進講習会等参加者数 単年度目標値	100人/年 67人	67.0%
	②公共交通機関の利用促進	甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上 【目標値なし】	実施
エコ通勤優良事業所数 (単年度目標値なし)			
2030(R12)年度 延べ 15ヶ所 (H24年度から)		延べ 4ヶ所	26.7%
③自転車による環境にやさしい移動の推進	レンタサイクル等の推進及び電動アシスト自転車等の普及促進 【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

(1) 建物・機器による省エネの推進について、「①省エネ住宅・施設等の普及促進」では、住宅等における建物の高断熱・高气密化等による省エネ化の普及により、目標を達成しています。また、「②省エネ機器の普及促進」では、こうした eco での情報提供等、普及に努めています。さらに、「③LED 照明の普及促進」では、市立甲府病院や甲府地方卸売市場等の公共施設において照明の LED 化に取り組んでいます。

次に(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)について、「① 都市緑化の推進」や「②農地の活用」、「③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進」では、「花いっぱい・緑いっぱい運動」の地域緑化及び「緑化教室の開催」による家庭緑化の推進や荒廃した農地の再生整備、透水性舗装による改良工事などを実施しています。

(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進について、「①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討」では、リサイクルフェアにおいてクリーンエネルギー自動車を展示し普及啓発を行なうとともに、庁用車両にクリーンエネルギー自動車を 16 台導入しています。「②充電設備の整備、水素ステーションの整備」では、市内に急速充電器 10ヶ所、普通充電器 31ヶ所が設置されています。また、水素ステーションの整備では、市内で1ヶ所設置されています。

取組	目標値	令和 2 年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 建物・機器による省エネの推進			
①省エネ住宅・施設等の普及促進	省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量		
	単年度目標値	100t-CO ₂ /年	135.85-CO ₂ 135.9%
②省エネ機器の普及促進	トップランナー制度の情報提供省エネ機器の導入による CO ₂ 削減の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
③LED 照明の普及促進	公共施設等への率直的な LED 照明の導入による普及促進 (単年度目標値なし) 令和 2 年度：33.81t-CO ₂ (参考)		
	2030(R12)年度 延べ (H24~)	延べ 4,500t-CO ₂	延べ 894.12t-CO ₂ 19.9%

取組	目標値	令和2年度	
		実績	進捗率・達成率
(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)			
①都市緑化の推進	都市緑化の推進(緑化植樹イベントの開催)道路・建物のヒートアイランド対策の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
②農地の活用	耕作放棄地の有効活用		
	【目標値なし】	実施	◎
③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進	道路・建物のヒートアイランド対策の推進	(舗装面積 422.0 m ²)	
	【目標値なし】	実施	◎
(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進			
①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討	クリーンエネルギー自動車の普及のための情報提供及び導入促進		
	【目標値なし】	実施	◎
②充電設備の整備、水素ステーションの整備	充電設備の整備 (単年度目標値なし)		
	2030(R12)年度	急速充電器: 市内 20ヶ所	急速充電器: 10ヶ所 50.0%
		普通充電器: 市内 50ヶ所	普通充電器: 31ヶ所 62.0%

アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

(1) 廃棄物の3R(Reduce(発生抑制) Reuse(再利用) Recycle(再資源化))の推進について、「①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進」では、生ごみ処理機等の購入補助金制度について、広報等により普及活動を実施しました。また、「②資源物排出の利便性の向上」では、設置を希望する地域要望に対応できるよう準

備を行いました。「③バイオマス資源の循環による活用」においても、EMボカシ・しんぶんコンポストキットの無料配布や廃食油の回収などを実施しています。

取組	目標値	令和2年度	
		実績	進捗率・達成率
(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化) の推進			
①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進	生活系家庭ごみの減量、プラスチック製容器包装の分別回収 【目標値なし】	実施	◎
	生ごみ処理機等の普及		
	単年度目標値 140件/年	86件	61.4%
②資源物排出の利便性の向上	資源物ステーションを段階的に設置 【目標値なし】	未実施	×
	③バイオマス資源の循環による活用 【目標値なし】	実施	◎

アクションプラン1

環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

《人づくり・地域づくり・協働の推進》

イチオシの取り組み

● 幼児・学校教育における環境教育の推進【甲府市】

《内容》

未来を担う子供たちの環境に対する意識を育むため、未就学児から中学生を対象とし、近年世界的な問題となっているマイクロプラスチックによる海洋汚染の現状について、講演会というスタイルで伝えています。



《ポイント》

軽い気持ちで捨てられたペットボトル等のプラスチックごみが、川や水路を伝って海に流れ着き、海洋汚染に繋がります。

海のない山梨県に暮らす子供達に山と海とが繋がっていることを再認識してもらうことで、生物の多様性や自然環境保護の重要性に気づき、自ら行動できるようになることを目的として実施しています。

(1) 環境教育の推進

《取り組みの内容》

① 幼児・学校教育における環境教育の推進

＜本市の取り組み＞

- ◆市内小中学校における環境教育の推進 : 実施数 36 校
 - ◇ペットボトルキャップ回収、河川清掃への参加など
- ◆市内小中学校の学校林活動への協力(森林体験) : 実施数 3 校、参加者数 130 人
- ◆放課後児童クラブ等における環境学習講演会の実施 : 実施 18 校 参加者数 639 人
 - ◇マイクロプラスチック問題の現状について
- ◆市内小学生を対象とした「太陽エネルギー・自然エネルギー体験教室」
: 実施数 2 校、参加児童数 58 人(NPO 法人みどりの学校との協働)
- ◆環境教育副読本『環境にやさしい街 甲府』の作成・配布 : 市内小学校の 4 年生に配布 1,939 冊
- ◆ごみへらし隊による保育園・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催
: 開催数 10 回、参加者数 281 人
 - ◇エコ工作、甲府・峡東クリーンセンター見学など

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨交通株式会社】

- ◆小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験

:参加数 1 校、参加児童・生徒数 54 人(全県 5 校 215 人)

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆目指す「2050 年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来イメージ化を図る :実施数 31 校

◇授業や学級活動において、甲府市の実態など環境教育の実施

- ◆循環型エネルギー施設・設備の設置によりミニスマートライフ、省エネを日常的に体験させる

:実施数 35 校

◇休み時間の消灯、児童会のエコ活動など

- ◆教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置づける

:実施数 27 校(1、2 年は生活科、3 年は総合、4 年は社会、総合、5、6 年は理科・総合、中学は総合)

- ◆児童会活動の中で、環境問題に取り組む活動の実施

エコキャップ集め、ごみの分別、牛乳パック回収、ごみ拾い愛町奉仕作業等 :実施数 30 校

- ◆環境教育の継続実施と見直し :実施数 34 校

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆幼稚園・保育園(所)・学校等における環境学習会の開催 :開催数 2 回、参加者数 58 人

◇太陽エネルギー体験教室

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆エコ×エネ親子DAYキャンプの実施

森の中で、様々な体験を通して、地球温暖化防止の必要性和大切さを学ぶ

(山梨県内の小学 3 年生～中学 3 年生対象) :実施数 2 回、参加者数 41 人

②地域・家庭における環境教育の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働による地球温暖化対策セミナーやイベントの開催

:開催数 2 回、参加者数 115 人

- ◆ごみへらし隊による各自治会や各種団体等を対象とした、ごみの減量や再資源化の出前講座(ごみへらしま専科)の開催 :開催数 6 回、参加者数 98 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府商工会議所】

- ◆環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進を目指す、「eco

検定」の実施 :実施数 1 回、受験者数 69 人

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆事業者や NPO と連携し、専門性を活かした出前授業や体験学習の充実 :実施数 11 校
 - ◇自然体験学習、ぶどう作り体験学習など
- ◆家庭や地域との連携による、荒川河川敷清掃、家庭でのクリーン作戦、地域の清掃活動の実施 :実施数 18 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境関連出前講座の実施「手漉きハガキ」、「自然派！お掃除」 :開催数 1 回、参加者数 13 人(全県 2 回開催、参加者数 47 人)

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆甲府市環境教育プログラムへの協働
ゴーヤの苗の配布、地球温暖化に関する講演会を協働で実施 :実施数 2 回、参加者数 115 人

③甲府市リサイクルプラザの活用

<本市の取り組み>

- ◆リサイクルプラザの利用の推進
環境教育教室や講座の開催 :開催数 6 回、参加者数 79 人 リサイクルプラザ総利用者数 40,065 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆リサイクルプラザを活用しての啓発活動
ミニソーラー工作教室等をはじめとするワークショップや自然エネルギー体験学習を開催 :開催数 1 回、参加者数 15 人

(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進(産学官民協働の推進)

《取り組みの内容》

①地域の温暖化防止活動等の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働で、ゴーヤの苗の配布、地球温暖化防止推進セミナーの開催 :実施数 2 回、参加者数 121 名
- ◆甲府市環境コミュニティの活性化
温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ行動についての情報提供 :ホームページアクセス件数 2,954 件(庁内からのアクセスは除く)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会他、地域の団体等との協働による地球温暖化防止の推進
学習会やセミナー開始時に緑のカーテン等の啓発活動 :開催数 4、参加者数 135 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆山梨県内の環境関連団体等との連携の拡大 :参加回数 1 回
「第 22 回ライトダウン山梨 2020 星を見上げて、こころをつないで。」の開催協力

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆山梨県環境教育ミーティングの実施 :1 回、参加者数 84 人

②地域の人材育成

<本市の取り組み>

- ◆山梨県へ地球温暖化防止活動員に推薦することによる人材育成
:コーディネーター数 延べ 49 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆地球温暖化防止活動推進員及び関連活動を実施している人を対象とした研修会の開催
:開催数 2 回、参加者数 50 人

アクションプラン 1 の課題

<本市の課題>

- ◆環境教育の実施方法については、オンラインによる出前講座や動画の活用を検討する必要がある。

<市民、事業者、NPO の課題>

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆各校の計画に沿った環境教育を推進していくうえで、何が必要で、どのような活動が可能か精査し、必要に応じて関係機関と連携を図っていく必要がある。

<市域全体の課題>

- ◆学校教育や地域・家庭における環境教育の推進、地域の温暖化防止活動等は、裾野の広い意識啓発として非常に重要な取組なので、甲府市・事業者・NPO 等が相互に連携した取組を更に増やしていく必要がある。

アクションプラン2

再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

イチオシの取り組み

● 汚泥焼却炉における重油削減【甲府市】

《内容》

下水道の終末処理場である甲府市浄化センターでは、下水の浄化過程で生じる脱水汚泥を減容化するため、汚泥焼却炉で 850℃に熱せられた珪砂と補助燃料として使用している重油で、脱水汚泥を焼却しています。

脱水汚泥焼却の補助燃料として使用する重油の削減として、カーボンニュートラルな代替エネルギー（木質系補助燃料：ペレット）に転換しています。

《ポイント》

脱水汚泥焼却の補助燃料である重油を、木質系補助燃料ペレットに転換することにより、温室効果ガスの排出を削減することが可能となります。

また、脱水汚泥を焼却することで、約3%程度に減容化できます。



バイオマス供給装置



木質系補助燃料：ペレット

(1) 太陽エネルギーの活用

《取り組みの内容》

① 太陽光発電システムの導入促進

<本市の取り組み>

◆ 甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度

住宅用蓄電池設置：助成件数 71 件

住宅用太陽光発電システム及び蓄電池設置：助成件数 53 件、総出力量 342.50kW

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆太陽光発電システムの使用【井上鋼材(株)、YITOA マイクロテクノロジー(株)、パナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株)、(株)サンニチ印刷、(株)東日製作所、(株)甲府明電舎】
:パネル枚数 6,524 枚、発電量合計 1,242,078kW

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆P2G(Power to Gas)システムの技術開発及び実証研究への参画
令和3年6月の山梨県内の工場やスーパーマーケットでの実証実験に向けた取組の実施

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆各種イベント等で住宅用太陽光発電の啓発活動
太陽光発電システム導入やエネルギーの賢い使い方のノウハウの提供
:実施数 4 回、参加者数 135 人

【パルシステム山梨】

- ◆FIT(再生可能エネルギー)電力中心の「パルシステムでんき」の普及
:契約数 甲府市内 274 件(全県 1,495 件)

② 市民共同発電の推進

<本市の取り組み>

- ◆「甲府市市民立共同発電事業助成金制度」により、NPO 等が実施する自然エネルギー発電設備を設置運営した費用の一部を助成し、CO₂削減の推進
: 1 件「山城地区市民立共同発電所」 年間発電量 7,041kWh、CO₂削減量 3.20t-CO₂/年

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の取り組みについての情報提供
甲府市南部市民センターの「山城地区市民立共同発電所」を活かした学習会の開催等
:開催数 1 回、参加者数 6 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆光の森こども園太陽光発電施設の活用 :年間発電量 10,695kWh、CO₂削減量 4.87t-CO₂/年
- ◆太陽光発電、太陽光熱利用の新規共同施設の建設に関する検討 :検討会開催数 1 回

③ 太陽熱エネルギーの活用

<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、太陽熱エネルギー活用についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供

各種学習会・イベントにて太陽熱温水器の利用促進のための情報提供:実施数 4 回、参加者数 135 人

◆市民共同の太陽エネルギーの活用

公共施設への市民立共同熱供給設備装置設置に向けた、調査研究を行った。

(2) バイオマスエネルギーの活用

《取り組みの内容》

① バイオマスエネルギーの活用と普及促進

＜本市の取り組み＞

◆汚泥焼却炉における重油(化石燃料)を代替エネルギー(木質系補助燃料[ペレット])に転換
:代替エネルギー転換率 60.5%(ペレット使用量 77.3t) CO₂削減量 123.5t-CO₂/年

◆甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度(令和元年 7 月 1 日施行)

木質ペレットストーブ導入 :助成件数 4 件

◆バイオマス資源の活用

木質バイオマスの事業化は需要量や費用対効果を考慮すると難しい状況であるため、他市等の動向を注視する中で情報収集に努めた。

◆果樹剪定枝等の活用

焼却工場の移転に伴い、ぶどうの剪定枝のエネルギー活用が出来なくなったため終了。

＜市民、事業者、NPO の取り組み＞

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆木質ペレットストーブの使用 :1 台(既存)継続使用(一宮センター)

【NPO 法人みどりの学校】

◆各種学習会、イベント等で木質バイオマス利用の啓発活動 :実施数 4 回、参加者数 135 人

【やまなし木質バイオマス協議会】

◆木質バイオマスエネルギー利活用の相談窓口 :実施件数 3 件

◆木質バイオマスストーブの普及啓発

展示や実演による木質バイオマス利用の PR 活動 :参加者数 約 200 人

◆未利用(切捨て間伐材、市場等の端材、製作所のおがくず)な木質資源の活用提案 :提案件数 1 件

(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

《取り組みの内容》

① 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進

＜本市の取り組み＞

◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽(小水力発電)の運営
:CO₂削減量 416.18t-CO₂/年(令和元年度総発電量 914,691kwh)

◆上下水道施設における再生可能エネルギーの利活用検討

長期財政への影響を確認するとともに、給水の安全性の確保の観点から、水運用上関連する他の施設更新スケジュールとの調整を行い、小水力発電設備工事(和田減圧槽築造工事)の実施時期について検討を行った。また、再生可能エネルギーの利活用に向け、国等の動向を注視し情報収集を進めた。

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京電力】

◆水力発電所の高効率発電機への更新 :計画進捗率 100%

早川第三発電所については令和2年6月竣工、早川第一発電所については、令和2年10月竣工。

アクションプラン2の課題

<本市の課題>

- ◆太陽光発電システムの普及への大きな課題は設備の導入費用であるため、クリーンエネルギー機器普及助成金制度の果たす役割は非常に大きい。更なる普及促進のためには、助成メニューの見直しなど市民の方がもっと利用しやすい制度への改正も必要である。

<市民・事業者・NPOの課題>

- ◆家庭用太陽光発電システムの普及は進んでいるので、事業所に向けた普及促進の取組も必要である。

アクションプラン3

潤いある森林の整備

《森林整備》

イチオシの取り組み

●「森林を利用した環境教育」【甲府市】

《内容》

学校林や甲府市有林を活用した森林体験活動等の環境教育を通して、森林の保護、育成及び活用に関する市民意識の醸造を図っています。



学校林活動 ヒノキ間伐体験

《ポイント》

森林には、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を抑制する機能や、洪水・濁水の緩和や水質を浄化する機能など、多くの機能を有しています。

これらの機能を維持・発揮させるためには、森林に対する正しい知識を持ち、森林を守るだけでなく、利用し循環させていく必要があります。

こうしたことから、環境教育を通じて、正しい知識を習得するとともに、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人とが共生する社会の実現に向けた取組を推進していきます。



木工体験

(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

《取り組みの内容》

① 森林整備の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市有林(人工林)の間伐事業 : 間伐面積 9.23ha
- ◆民有林の人工林整備の実施 : 下刈面積 6.49ha
- ◆森林病虫害防除事業の実施
: くん蒸処理数量 306.77 m³、薬剤処理数量 19.92 m³、枯損木処理数量 70.99 m³
- ◆間伐材の有効活用の促進 : 販売数量 186.49 m³

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【中央森林組合】

- ◆間伐整備(甲府市の民有林で間伐材の搬出) :搬出材積 511 m³
- ◆民有林の下草刈り :下草刈り面積 15.24ha
- ◆里山林整備 荒廃した里山など間伐整備により、健全な森林に再生 :再生面積 6.26ha

② 県産材等木材の利用促進

<本市の取り組み>

- ◆公共施設への県産材等木材の利用について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で紹介

③ 森林の保護、育成に関する意識の醸成

<本市の取り組み>

- ◆森林を利用した環境教育の推進
自然とふれあいながら間伐体験やネイチャーゲームを体験する環境教育の実施
:参加団体 2 団体、参加者数 45 人

アクションプラン 3 の課題

<本市の課題>

- ◆甲府市有林の間伐事業などは、森林の公益機能の高度発揮を図るため非常に重要な取組である。森林の保護・育成に関する市民意識の醸成を図るためには、「水源林の集い」の開催のほか森林資源を活用した環境教育も重要である。

<市域全体の課題>

- ◆県産材等の木材は、公共施設だけでなく一般住宅や事業者による利用促進も必要である。

アクションプラン4

地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

イチオシの取り組み

●緑のカーテンづくりの推進【甲府市・市民・事業所・NPO】

《内容》

家庭、事業者、公共施設において、地球温暖化防止や節電対策として、「緑のカーテンづくりの推進」に取り組んでいます。



《ポイント》

緑のカーテンは、ゴーヤやアサガオ等のツル性の植物を利用した、ツルが何かに巻き付いて伸びる種類の植物で作る自然のカーテンのことです。夏の暑い日に葉っぱの間をすり抜けてくる涼しい風は天然のエアコンのように感じられます。鮮やかな緑は癒し効果もあり、花や果実など植える植物によっていろいろな楽しみがあります。



(1) 省エネ行動の普及促進

《取り組みの内容》

①省エネ行動の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆広報こうふ「スマートライフ通信」の掲載や温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において情報提供
: 広報こうふ掲載数 6 回(隔月)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆「生産ラインにおけるエネルギー無駄ゼロに導く IT 活用事業」による年間購入電力の削減
: 実施事業所数 13 社

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆省エネについて東京電力 HP での情報発信や関係機関などへの情報提供

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆環境イベント等での普及啓発

「脱炭素・自然エネルギーの暮らしを考える」をテーマとした市民向けセミナー等の実施：参加数 121 人

◆協議会のウェブサイトにおいて、イベント等の情報や活動内容の周知

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

◆全国地球温暖化防止活動推進センターの統一アンケートを各種イベントや教室時に実施

：アンケート調査件数 665 件

◆「地球温暖化防止まずはこんなところから」シート等、温暖化防止に関する資料を甲府市内の小学校へ配布：配布件数 200 件

② 緑のカーテンづくりの推進

<本市の取り組み>

◆緑あふれるまちづくり(緑のカーテン)の推進

：ゴーヤの苗の配布数 幼稚園等 943 本、小学校等 400 本、公共施設 504 本、合計 1,847 本

：「緑のカーテン」づくりセミナー参加者へ配布 195 本

※セミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◆市立甲府病院の壁や窓、上下水道局本庁舎南側に、ゴーヤによる緑のカーテンを設置

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆ぶどうによる緑のカーテンづくりの実施：参加企業 6 社、カーテン面積 158 m²

【JA 山梨みらい】

◆ゴーヤによる緑のカーテンづくりの実施：設置数 2 店

【甲府市公立小中学校長会】

◆学校等における緑のカーテンづくりの実施：実施数 20 校

【NPO 法人みどりの学校】

◆緑のカーテン、屋上緑化、緑化透水性舗装等の啓発活動：実施数 4 回、参加者数 135 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆緑のカーテンの普及促進

協議会で栽培した苗を学校や公共施設等へ配布し、緑のカーテンの実践と普及啓発を図る

：緑のカーテン配布数 2,162 苗

③ 甲府市（事務・事業）の率先的取り組み

<本市の取り組み>

◆実行計画(事務事業編)における公共施設等のエネルギー原単位の削減(基準年度：平成 25 年度)

：基準年度比

公共施設 △19.1% ◇昼休みの消灯、クールビズ、ウォームビズによる省エネ

公用車 △13.2% ◇スマートムーブの推奨、公用車のクリーンエネルギー化

(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

《取り組みの内容》

① エコドライブの推進

<本市の取り組み>

- ◆市職員に対し、安全運転研修においてエコドライブについての啓発を実施 : 参加者数 67 人
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、エコドライブの運転方法についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコドライブの普及啓発活動(各種学習会での情報提供等) : 開催数 4 回、参加者数 135 人

② 公共交通機関の利用促進

<本市の取り組み>

- ◆公共交通を考える機会の創出
公共交通に関するパネル巡回展示の実施 : 実施数 7 回、来場者数 273 人
個人の利用ニーズに応じたオリジナルの「マイバス・鉄道時刻表」の作成・提供事業等の実施
- ◆分かりやすい公共交通情報の提供として、市民が便利なバス情報を活用できるやまなしバスコンシェルジュの普及啓発 : キャンペーン数 2 回
- ◆公共交通に対する地域主体の取り組みを支援するため、地区説明会を実施
: 実施地区数 2 地区
- ◆サイクル・アンド・ライドの推進 : 駐輪場の設置数 15 施設
- ◆やまなしエコ通勤トライアルウィークへの参加 : 延べ参加者数 350 人
- ◆「エコ通勤優良事業所認証制度」について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で周知・普及促進活動
: 認定事業所数 4 ヶ所

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨県バス協会(山梨交通株式会社)】

- ◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営
携帯端末に加えて、甲府駅南口でデジタルサイネージでの情報提供、システムの利便性と認知度の向上を図り路線バスの利用促進に繋げた。 : サイトへのアクセス件数 約 25,172(件/月平均)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「エコ通勤奨励制度」において、エコ通勤の実施による CO₂ 削減
: 参加者数 3 人(282.0kg-CO₂ 削減)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆公共交通利用の情報提供 : 実施数 2 回、参加者数 60 人

【東京電力グループ】

- ◆公共交通機関の利用推奨によるエコ通勤の促進 : エコ通勤率 72.9%

③自転車による環境にやさしい移動の推進

<本市の取り組み>

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「甲府市レンタサイクル事業」：貸出台数 1,113 台
- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、甲府市レンタサイクル事業等についての情報提供

アクションプラン4の課題

<本市の課題>

- ◆広報「こうふ」や温暖化情報サイト「こうふの eco」による、省エネ行動の情報発信は幅広い層の人々に届く重要な手段である。更なる省エネ行動の普及促進には、テレビやラジオ等の地元に密着したメディアやSNSを活用した情報機会を増やしていく必要がある。

<市域全体の課題>

- ◆甲府市は自動車保有率が高く、通勤手段としての公共交通機関の利用促進は難しい取組であるが、少しずつでも公共交通機関への利用移行を図るためには、市域全体で意識付けていく取組が必要である。

アクションプラン5

賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

イチオシの取り組み 

●クリーンエネルギー機器普及助成金制度【甲府市】

【事業所名等】

《内容》

甲府市では温暖化対策の一環として、既存の住宅用太陽光発電システムに住宅用蓄電池を追加設置された方、住宅用太陽光発電システム及び住宅用蓄電池を同時設置された方、木質ペレットストーブを設置された方を対象とした助成金制度を行っています。

《ポイント》

低炭素で循環型の社会の実現に向けて、環境への負荷が少ないクリーンエネルギー機器を設置する方に対して助成金を交付することにより、日照時間の長い本市の特徴を活かした太陽光発電システムによる再生可能エネルギー等の有効活用や普及拡大を図ることで温室効果ガスの排出量の削減に努めています。



(1) 建物・機器による省エネの推進

《取り組みの内容》

①省エネ住宅・施設等の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ住宅等についての情報提供
長期優良住宅新規認定件数 :247 件
- ◆甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度
 - ◇住宅用蓄電池、住宅用太陽光発電システム及び蓄電池設置(同時設置)、ペレットストーブの設置に助成

②省エネ機器の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ機器についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京ガス山梨株式会社】

◆エコジョーズの導入促進活動による CO₂ 削減

:導入台数 都市ガス 200 台 LPガス用 68 台 CO₂削減量 223kg-CO₂ /台

◆エネファームの導入促進活動による CO₂ 削減 :導入台数 5 台、CO₂削減量 1,330 kg-CO₂/台

◆企業での高効率機器設備の普及促進

最新の高効率 GHP (ガスヒートポンプエアコン)の導入 :1 カ所

カーボンニュートラル電力・ガスやソーラーアドバンス (太陽光発電ソリューション)の導入: 1ヶ所

【甲府市自治会連合会】

◆家庭用蓄電池の普及

自治会連合会の会議等で、家庭用蓄電池について周知を図った。

③ LED 照明の普及促進

<本市の取り組み>

◆防犯街路灯のLED化等への補助 :補助灯数 89 灯

◆甲府市地方卸売市場整備計画における照明設備のLED化

:LED化数 272 灯、CO₂削減量 13.44t-CO₂

◆都市公園等の照明をLED化に改修(省エネ・グリーン化推進事業)

:LED化数 14 灯、CO₂削減量 0.82t-CO₂

◆市立甲府病院内の照明器具をLED化 :LED化数 292 灯、CO₂削減量 8.01t-CO₂

◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、LED 照明導入による省エネ効果についての情報提供

(2) 緑あふれるまちづくり (都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)

《取り組みの内容》

① 都市緑化の推進

<本市の取り組み>

◆花いっぱい緑いっぱい運動による「地域緑化」の推進(6種類の花苗の配布)

:配布団体数 110 団体、配布株数 79,100 株

◆緑化教室の開催による「家庭緑化」の推進 :開催数 5 回

◆自主的な美化活動を行う公園美化活動団体の設立の促進 :設立団体数 3 団体(計 25 団体)

◆生垣設置助成 :申請件数 2 件 生垣整備距離 31m

◆事業所等の緑化指導 :助成件数 2 件、面積 301.00 m²

◆市保存樹木制度による樹木の指定 :指定本数 9 本

◆新築記念としてキンモクセイ・オオムラサキツツジの苗木を配布 :配布数 2 本

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆屋上緑化の実施(本部・一宮センター) :実施事業所数 2ヶ所

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆屋根緑化の情報提供(学習会、各種セミナー等)
:実施数 4回、参加者数 135人

②農地の活用

<本市の取り組み>

- ◆荒廃した農地の再生整備
農地の再生利用に向けた機械の貸付による耕作放棄地の解消 :再生整備面積 709.0 m²
- ◆市民農園の貸出
市民農園開発希望者に開設までの法的手続きの等への申請補助
:市民農園貸出区数 74 区画

③建物・道路等のヒートアイランド対策の推進

<本市の取り組み>

- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策 :道路改良工事等 実施面積 422.0 m²

(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進

《取り組みの内容》

①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討

<本市の取り組み>

- ◆公用車への電気自動車・燃料自動車の導入
:保有台数 16台(電気自動車 7台、ハイブリッド車 8台、燃料電池車 1台)
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、クリーンエネルギー自動車についての情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆社有車への電気自動車の導入 :保有台数 4台 充電スタンド 8台

【甲府商工会議所】

- ◆公用車に電気自動車を導入し、PR 活動を実施 :保有台数 1台

【山梨交通株式会社】

- ◆社用車に、燃料電池車を導入し、水素ステーションと併せ PR 活動を実施 :保有台数 1台

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆EV・PHVならびにV2H(Vehicle to Home)普及促進に向け、イベント等でPRを実施 :実施数 3回

②充電設備、水素ステーションの整備

<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、クリーンエネルギー自動車や充電器設置場所等の情報提供

アクションプラン5の課題

<本市の課題>

- ◆気候変動に起因する集中豪雨に伴う災害への備えとして、避難所等への太陽光発電システムや蓄電池の導入を推進していく必要がある。

<市民・事業者・NPOの課題>

- ◆大企業では中長期環境目標を策定し、省エネ機器・設備の導入による省エネルギー化など環境負荷の少ない事業活動が推進されている。地域の中小企業においても環境への貢献意識を拡げた省エネ活動を推進していく必要がある。

アクションプラン6

持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

イチオシの取り組み

●下水汚泥焼却灰の再利用【甲府市】

《内容》

下水道の終末処理場である甲府市浄化センターにおいては、下水の浄化過程で毎日約 50 t の脱水汚泥が発生しています。これを汚泥焼却炉で焼却処理すると、残渣として焼却灰が約 1.6 t 発生しますが、焼却灰はセメント原材料等に再資源化しています。



汚泥焼却炉

《ポイント》

脱水汚泥の減容化により発生した焼却灰は、処理施設において焼成又は固形化し、セメント原料若しくは建設資材等として 100% の再資源化を推進しています。



焼却灰搬出

(1) 廃棄物の 3 R (Reduce・Reuse・Recycle) の推進

《取り組みの内容》

① 分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進

<本市の取り組み>

- ◆生ごみ処理機購入補助 : 補助件数 86 件(容器式 18 件、電気式 68 件)
- ◆有価物回収事業 : 自治会への報奨金交付件数 360 件
- ◆資源回収推進事業 : 資源物回収量 2,449.03t
- ◆陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業 : 陶磁器製食器回収量 7.94t
(リユース:リサイクルフェアにおいて無料配布、リサイクル:再生食器の原材料としている)
- ◆リサイクル推進員制度の活用 : 活動延べ人員 3,598 人
- ◆ミックスペーパー分別回収 : 回収量 1,436.04t
- ◆使用済み小型電子機器回収 : 回収量 8.55t
- ◆容器包装廃棄物(紙箱・紙袋・包装紙)の分別回収 : 紙製容器包装類回収量 7.9t

◆プラスチック製容器分別回収

:その他プラスチック製容器包装回収量 833.29t

◆分別排出普及啓発チラシ冊子の作成・配布 :4,678 冊

◆多量排出事業者に対する事業系一般廃棄物削減等の啓発 :減量化等計画書の提出件数 66 社

◆中小規模事業者への訪問調査指導 :訪問調査指導数 836 回

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業による共同リサイクル事業、紙類(ダンボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙)の分別回収再利用、廃プラ・木くずの固形燃料化 :紙類回収量 573t 廃プラ・木くず回収量 247t

【甲府商工会議所】

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーを古紙再生品原料(トイレトペーパー等)として利用 :古紙回収量 67t

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆商品包装等の回収の呼びかけ

:容器の回収率

リユースびん[68.2%]、紙(牛乳)パック[61.9%]、ABパック[18.8%]、商品案内(カタログ)[77.1%]、注文用紙[72.9%]、ポリ袋[30.6%]、たまごパック[83.1%]、食材セットトレイ[57.8%]、米袋[44.0%]、ペットボトル[57.3%]

【甲府市自治会連合会】

- ◆分別の徹底によるごみの減量化(ミックスペーパー) :ミックスペーパー回収量 1,436.04t

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆事業場産業廃棄物リサイクルの推進 :リサイクル率 99%

②資源物排出の利便性の向上

<本市の取り組み>

◆資源物ステーションの設置

甲府市自治会連合会との連携を継続し、地域の要望に応じて協議調整を行い、整備を進める。

:設置済数 3 箇所

③バイオマス資源の循環による活用

<本市の取り組み>

- ◆下水汚泥焼却灰の再利用 :焼却灰搬出量 611.9t

◇セメント原料として再利用

- ◆家庭で不用になった食用油の分別回収 :廃食油回収量 8,920ℓ

◇家畜用飼料として再利用

- ◆生ごみ発酵促進剤 EM ボカシ無料配付 :ボカシ配付実数 20,408 袋

- ◆しんぶんコンポストキットの無料配付 :配布数 95 体 375 体

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業内社内食堂より発生する生ごみの堆肥化及び、廃食用油の回収

:生ごみ発生量 16,372kg (5社で取り組み) 廃食用油回収量 1,296ℓ (1社で取り組み)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆生ごみの資源化の情報提供

各種学習会において、食品残さの減量、コンポスト、EMポカシ等の発酵促進剤による生ごみの資源化等についての情報提供 :実施数 2回、参加者数 60人

アクションプラン6の課題

<市域全体の課題>

- ◆廃棄物の3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)、リサイクル(再資源化)の推進において、まず「ごみを出さないリデュース(発生抑制)」が最も重要である。市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たす中で、ごみ排出量の更なる削減に取り組む必要がある。

地球温暖化への適応策

各分野における適応策の方向性

(1) 健康被害の予防

影響	<p>熱中症による救急搬送患者が増加し、特に高齢者や子どもは重症化のリスクが高まることに加え、マラリヤやデング熱などの感染症の増加等が懸念されます。</p> <p>特に熱中症のリスクは、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなり、暑さに対する体の調節機能が低下する高齢者において高くなります。</p>
----	--

《取り組みの内容》

＜本市の取り組み＞

《熱中予防対策》

- ◆ホームページにおいて熱中症の症状や予防、手当てなどの情報掲載。また、熱中症予防情報関連サイトへのリンク
- ◆子育てアプリ「すくすくメモリーズ」や「甲府市防災アプリ」による注意喚起
 - ◇全国から寄せられた440件の取組の中から、官民連携部門、企画・アイデア部門等の7部門のうち、「オンライン啓発部門」において、子育てアプリ「すくすくメモリーズ」や「甲府市防災アプリ」を活用した、暑さ指数や熱中症警戒アラートの発信による注意喚起の取組等が最優秀賞を受賞しました。
- ◆ポスター掲示、庁舎前大型ビジョン、広報、ラジオ、防災無線などを利用した普及・啓発
- ◆イベント時におけるのぼり旗、リーフレット等を活用した普及・啓発
- ◆観光客、外国人を対象とした普及・啓発
- ◆保健師及び管理栄養士が受け持ち地区での地区活動を活用した熱中症に関する周知
- ◆住民の自助・共助を促す普及・啓発
- ◆各種教室等実施の際に(ウォーキング教室)熱中症に関する情報提供
- ◆健康づくりに関わる地区組織等会議で、声かけ活動、地区回覧物等での熱中症予防の周知の依頼
- ◆フレイル予防教室等や個別支援において、高齢者に熱中症予防・対策の伝達
- ◆母子健康手帳発行時と乳幼児健診に、妊婦や乳幼児の保護者への普及・啓発

《クールシェアスポットの設置》

- ◆クールシェアスポットの設置について関係施設の協力要請
- ◆上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放し休憩スペースとして活用、希望者には「甲府の水」の配布

《ヒートアイランド対策》

- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策（再掲）：道路改良工事等 実施面積 422.0 m²

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府市公立小中学校長会】

《熱中症注意喚起》

- ◆保健だよりによる熱中症の症状や予防などの情報掲載、休み時間における全校放送や熱中症予防指針による全校児童への啓発

《子どもたちを暑さから守るための取組》

- ◆外遊びの制限、校内放送による呼びかけ、帽子着用、水筒での水分補給、汗拭きタオル持参などの指導の徹底
- ◆職員会議において熱中症対策について養護教諭からの説明、提案や職員への周知
- ◆こまめな水分の補給や木の下等による休憩、戸外での運動制限の実施
- ◆職員室前に熱中症の危険度の掲示
- ◆下校時に傘や日傘を利用した暑さ対策の実施
- ◆玄関や保健室前へのミスト設置による局所的な気温の軽減対策

《冷房・サーキュレーター等の活用》

- ◆冷房とサーキュレーターの併用活用
- ◆校舎3階にミニスポットクーラーの設置、体育での大型扇風機の活用

《熱中症予防対策マニュアル等の活用》

- ◆熱中症予防対策マニュアルに準じた確認熱中症予防への取組

【みどりの学校】

- ◆緑のカーテンによる熱中症予防の有効性について学習会やセミナー時に情報提供

【東京ガス山梨株式会社】

- ◆近年の豪雨・洪水リスクの高まりに対し、ガス供給支障・業務停滞を防ぐため、ガス供給設備の水害対策強化の検討の推進

(2) 自然(水)災害

影響

近年、気候変動の影響による局地的な集中豪雨により、甚大な豪雨・洪水の被害が発生しています。今後も、その頻度が増し、河川洪水の機会が増加することが予測されます。

《取り組みの内容》

<本市の取り組み>

- ◆ホームページや防災情報 Web 内の体感ハザードマップへの掲載による、洪水浸水想定区域などの周知
- ◆「わたしの避難行動計画(マイ・タイムライン)」をホームページや広報へ掲載、「水害避難の地区研修会」による水害時の避難についての啓発
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、世界各地の異常気象などについての情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府市公立小中学校長会】

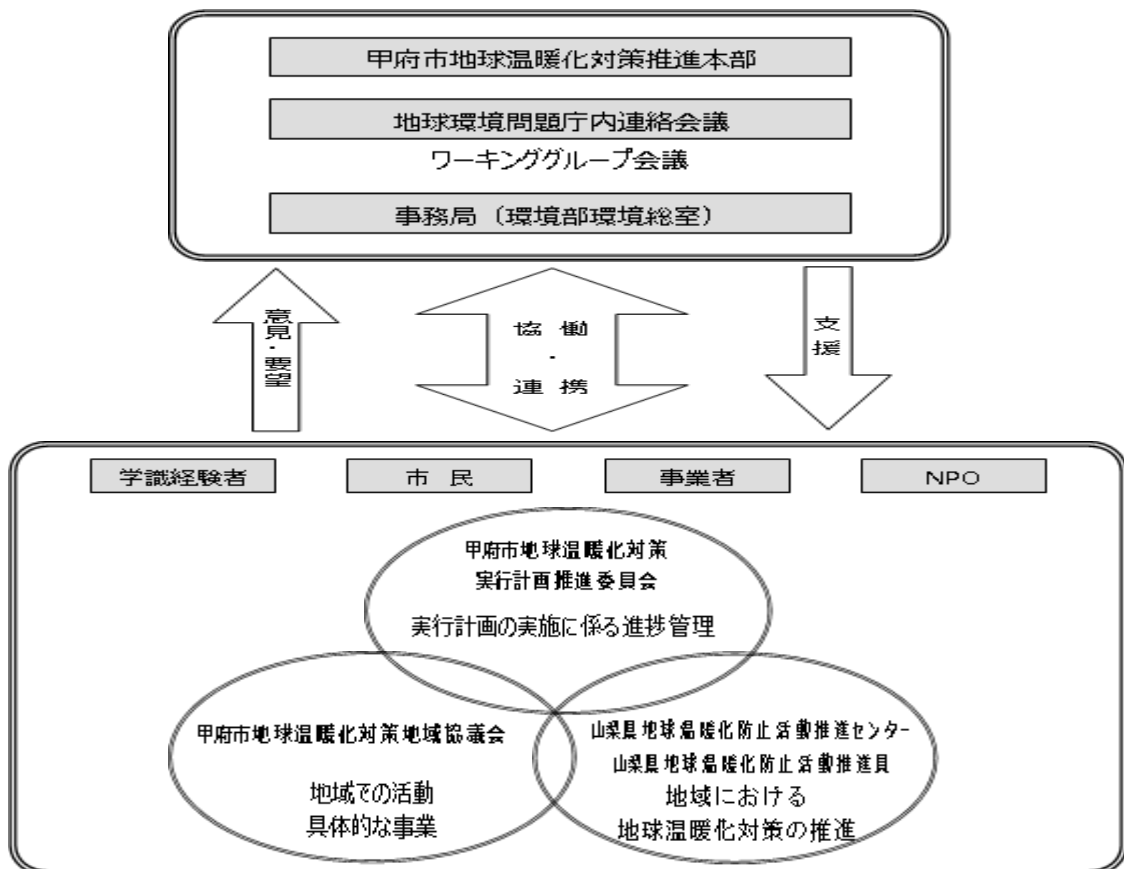
《防災マニュアルへの記載》

<ul style="list-style-type: none"> ◆豪雨・洪水対策マニュアルの見直しや確認の実施 ◆危機管理(防災)マニュアルの「風水害等防災計画」、「災害時に増水の危険のあるところ」について、近隣校と避難方法の確認 ◆防災マニュアルに豪雨・洪水への対策の記載や見直しに対応した避難訓練の実施 ◆「災害発生時の留意点」に連絡体制や緊急業務の記載 ◆保護者に「緊急時対応マニュアル」を配布し、災害発生時の児童の引き渡し方法等の周知 ◆防災地図を作成し、年度当初や天気予報に応じて教職員に周知徹底 ◆安全マップに洪水危険箇所の明示 ◆地域防災マップ、地域安全点検マップを作成し、水路等の表示、確認 <p>《危険箇所の周知》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域の危険箇所について集団下校時に随時点検、職員間の共通理解の徹底 ◆マメルメール(全家庭加入)を使った注意喚起や登下校時間の変更等の迅速な情報提供 ◆豪雨時における校内区の側溝や河川の状況等の職員による確認や付添等による登下校時の安全確保 ◆注意報や警報の発令により豪雨や洪水が予想される場合への全校体制での対応の徹底 ◆防災訓練を複数回実施 ◆地域の見守り隊など諸団体との連携による危険個所の確認 <p>【NPO 法人みどりの学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆体験学習やイベント時に、ソーラークッカー、ウッドガスストーブ、太陽光発電蓄電ライト、手回し発電ライト・ラジオ等の再生可能エネルギーで動く生活用品の備えや災害時における実用性の啓発 	
(3) 水環境・水資源	
影響	気候変動による渇水や洪水などの水環境・水資源へのリスクが高まります。
<p>《取り組みの内容》</p> <p><本市の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、水源かん養林のもつ重要な役割やその機能保全の取組、節水や雨水利用など水資源の保全などの情報提供 	
(4) 食料	
影響	コメ、野菜、果樹等の品質低下(巨峰系品種の着色遅延、収穫期や収穫に近い品種の一部で果梗部の褐変、果粒の軟化など)の影響が懸念されます。
<p><本市の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供 	
(5) 自然生態系	
影響	地球温暖化は生物多様性の危機の一つと考えられ、これまで生息していた生物の生息域が変化し、私たちの身近な生活にも影響を及ぼします。
<p><本市の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供 	

第3章 施策の検証

1 実行計画の推進体制

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置しています。
- 推進委員会は、実行計画の推進に関することや進捗管理に関すること、評価及び見直しに関すること等を所掌しています。
- また、推進委員会には実行計画の専門的な調査、検討を行うための部会を設置しており、部会では、施策の進捗状況について把握し、その結果につき個別評価を行います。
- 部会で個別評価した結果については、推進委員会に付し、全体で再評価を行い、取り組みに遅れがある場合は改善策を検討します。
- 市内においては、実務担当者による「ワーキンググループ会議」、その上部機関として本市の対策を協議する「地球環境問題庁内連絡会議」、さらに地球温暖化対策に関する施策について本市が統一的かつ総合的に推進していくことを目的とした「地球温暖化対策推進本部」があります。
- 市内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行うことにより、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っています。



甲府市地球温暖化対策実行計画の推進体制

2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見

- 令和2年度の「市の取り組み」及び「市域での取り組み」について、推進委員会からいただいたご意見等をアクションプランごとにまとめました。

全体に対する意見
<ul style="list-style-type: none">■ 「ゼロカーボンシティ」の表明による、温室効果ガス排出実質ゼロの目標達成に向けて、これまでの取組や実行計画における重点プロジェクトをより一層充実、強化することが求められると考える。その対策を確実に実行するためには、市民を含めた各主体の取組を着実な行動へと導くための新たな情報発信(動画配信、SNS、CM、パンフレット、イベントなど)方法について検討していただきたい。■ 市民一人ひとりの小さな取組みの蓄積が、大きな成果に繋がるので、今後も啓蒙活動に力を注いでほしい。
アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進 《人づくり・地域づくり・協働の推進》
<ul style="list-style-type: none">■ 「幼児・学校教育」では、目標値には届かなくともコロナ禍の制約の中で推進できたと思う。「地域・家庭」では、今よく耳にする『おうち時間』の過ごし方として、環境について考えながら身近な人と出来る取組を増やすなど、時代に合わせた仕掛けを考える必要があると感じる。
アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
<ul style="list-style-type: none">■ 国が「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会をめざす」と表明したことにより、温暖化対策に対する機運が高まっているので、再生可能エネルギーの導入・普及促進について引き続き推進していただきたい。■ 地中熱・小水力等の太陽エネルギー以外の再生可能エネルギーの活用についても検討していただきたい。
アクションプラン3 潤いある森林の整備 《森林整備》
<ul style="list-style-type: none">■ 森林は適切な整備を行わないと雑木林になってしまい貯水能力も落ちてしまうので、今後も間伐などの整備に取り組んでいただきたい。また、森林整備により発生した間伐材の有効活用についても検討していただきたい。

<p>アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》</p> <p>■ 温暖化対策の更なる推進には、生活そのものを地球にやさしいライフスタイルへ転換していくことが重要なので、9月に作成された「甲府市地球温暖化対策ガイドブック」を有効活用した省エネ意識の高揚に取り組んでいただきたい。</p> <p>■ ぶどうなどゴーヤ以外の植物による緑のカーテンづくりについて情報提供がさらにあるといいと思う。緑のカーテンは気軽にできる温暖化対策なので、「緑のカーテンコンテスト」の実施などの市域全体に広がる取組を検討していただきたい。</p>
<p>アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換</p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》</p> <p>■ 建物・機器による省エネの推進においては、既設の住宅の断熱リフォームなどの普及促進が必要である。</p> <p>■ クリーンエネルギー自動車の普及には、購入費用や充電設備設置の補助制度について検討していただきたい。</p>
<p>アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築</p> <p style="text-align: center;">《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》</p> <p>■ 大量生産・大量消費・大量廃棄から循環型社会の構築をめざすには3Rの推進が重要である。3Rの推進ではごみを出さないことが重要なので、ごみの減量化の推進として、食品ロス削減の取組の推進や家庭ごみの減量等に努めていただきたい。</p>

■ いただきましたご意見等を踏まえ、実行計画の施策や取り組みを推進していきます。

3 Act（改善）の方向性

- 本報告書では、重点プロジェクトである「6つのアクションプラン（緩和策）」と「適応策」に関する令和2年度の施策及び取り組みの実施状況等を取りまとめている。6つのアクションプラン（緩和策）においては、数多くの施策や取り組みが実施されているが、いくつかの項目では取り組みが進んでいない項目もある。また、6つのアクションプラン（緩和策）に取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合、その被害を少なくするための対策である適応策については、既に発生している温暖化の影響や温暖化の進行による中長期的な変化を踏まえる中で計画的に取り組みを進めて行くことが必要である。これらの取り組みについては、それぞれの状況や課題等の解決に向け、地域の特性や実情を踏まえることで、より実効性を持たせ、温室効果ガス削減への取り組み強化を図っていく。
- また、本報告書の情報提供方法についても検討し、取り組み状況や実施方法などがより多くの人へ更に周知されるよう、市民、事業者等への情報提供、共有についても推進していく。

【資料（1）】甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員名簿

（委嘱期間：令和2年12月26日～令和4年12月25日）

代表区分	氏名	所属
学識経験者	〈委員長〉 鈴木 嘉彦	山梨大学名誉教授
	〈副委員長〉 箕浦 一哉	公立大学法人山梨県立大学教授
行政関係者	中澤 一郎	山梨県環境・エネルギー部環境・エネルギー政策課長
地域関係者	市川 房雄	山梨みらい農業協同組合 総務部長
	米山 敏彦	中央森林組合 代表理事組合長
	中込 良夫	協同組合 国母工業団地工業会 専務理事
	諸平 あゆみ	甲府商工会議所 環境問題委員会 副委員長
	清水 弘一	山梨交通㈱ 執行役員総務部長
エネルギー供給者	古屋 和明	東京電力パワーグリッド㈱山梨総支社 甲府事務所次長
	大石 公太	東京ガス山梨㈱ 取締役 企画総務部長
教育関係者	小澤 和彦	甲府市公立小中学校長会
市民団体	梅原 隆子	生活協同組合パルシステム山梨 理事長
	芦澤 公子	特定非営利活動法人みどりの学校 理事長
	橋元 傑	甲府市地球温暖化対策地域協議会 副会長
	鳥屋尾 健	山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会 環境教育事業部長)
	志澤 美香	やまなし木質バイオマス協議会 事務局
市民代表	高添 裕一	甲府市自治会連合会 理事

【資料（2）】

平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

重点プロジェクト			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり・地域づくり（サステイナブルな社会の創造）・日々の暮らし（スマートライフ）</p>	<p>アクションプラン1</p> <p>環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進 《人づくり・地域づくり・協働の推進》 （環境教育・生涯学習・協働）</p>	<p>1. 環境教育の推進 2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 （産学官民協働の推進）</p>	<p>緩和策（6つのアクションプラン）</p>
	<p>アクションプラン2</p> <p>再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》 （再生可能エネルギーの導入）</p>	<p>1. 太陽エネルギーの活用 2. バイオマスエネルギーの活用 3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用</p>	
	<p>アクションプラン3</p> <p>潤いある森林の整備 《森林整備》 （森林の整備）</p>	<p>1. 潤いと光あふれる森づくり （森林整備）</p>	
	<p>アクションプラン4</p> <p>地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動 《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》 （ライフスタイルの転換）</p>	<p>1. 省エネ行動の普及促進 2. 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進</p>	
	<p>アクションプラン5</p> <p>賢く、快適な低炭素型都市構造への転換 《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》 （低炭素な都市への転換・緑化の推進）</p>	<p>1. 建物・機器による省エネの推進 2. 緑あふれるまちづくり （都市緑化・ヒートアイランド対策の推進） 3. クリーンエネルギー自動車等の普及促進</p>	
	<p>アクションプラン6</p> <p>持続可能な循環型社会の構築 《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》 （持続可能な社会の形成）</p>	<p>1. 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進</p>	
<p>地球温暖化への適応策</p>	<p>1. 健康被害の予防 2. 自然（水）災害 3. 水環境・水資源 4. 食料 5. 自然生態系</p>	<p>適応策</p>	

※サステイナブルな社会『持続可能な社会』

【資料（3）】

SDGs（エス・ディー・ジーズ） 持続可能な開発目標 17の目標

目 標	アクションプラン						適 応 策
	1	2	3	4	5	6	
 「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせよう」							
 「飢餓を終わらせ、全ての人が一周年を通して栄養のある十分な食料を確保できるようにし、持続可能な農業を促進しよう」							●
 「あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進しよう」							●
 「すべての人が受けられる構成で質の高い教育の完全普及を達成し、生涯にわたって学習できる機会を増やそう」	●						
 「男女平等を達成し、全ての女性及び女性の能力の可能性を伸ばそう」							
 「全ての人々が安全な水とトイレを利用できるよう環境衛生を改善し、ずっと管理していけるようにしよう」							●
 「全ての人々が、安くて安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう」		●		●	●		
 「誰も取り残さないで持続可能な経済成長を促進し、全ての人々が生産的で働きがいのある人間らしい仕事に就くことができるようにしよう」				●			
 「災害に強いインフラを作り、持続可能な形で産業を発展させイノベーションを推進していこう」					●		●
 「国内および国家間の不平等を見直そう」							
 「安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現しよう」				●	●		●
 「持続可能な方法で生産し、消費する取組を進めていこう」	●	●		●		●	
 「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じよう」	●	●	●	●	●	●	●
 「持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続可能な形で利用しよう」						●	●
 「陸上の生態系や森林の保護・回復と持続可能な利用を促進し、砂漠化と土地の劣化に対処し、生物多様性の損失を阻止しよう」			●				●
 「持続可能な開発のための平和的で誰も置き去りにしない社会を促進し、全ての人々が法や制度で守られる社会を構築しよう」							
 「目標達成のために必要な手段を強化し、持続可能な開発にむけて世界の人々で協力しよう」	●	●	●	●	●	●	●

甲府市地球温暖化対策実行計画
令和2年度年次報告書

編集・発行/甲府市環境部環境総室環境保全課

〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4
TEL055-241-4312 FAX055-241-6190

甲府市ホームページ
<https://www.city.kofu.yamanashi.jp>

甲府市温暖化対策情報サイト「こうふのeco」
<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/>